







## “信仰のみ”の教に潜む危険

行いの重要性を小する教を播することには、大きな危が伴います。多くのキリスト教徒は、イエスが彼らの罪を免したことから、罪深い生活を ける必要がないと思いでいます。言い替えるなら、イエスが彼らに罪を犯す「フリパス」を与えたと信じているのです。そして、キリスト教徒が一に渡って罪を犯し けながら、日曜日だけは教会を け、何があろうと彼らは救されるのだという考え方に 足するのを 出すことが出来ます。この“一度だけ救われると、常に救われる”教は、神に する人の を忘れさせるのです。そういった教を宣教する宗教は、にはその追者たちが正の道からさまよい去ることを助けているのです。一方、イスラムではその追者に し、神の恩は信仰と行いによってもたらされ、人は天国を得るためには不断の努力をしなければならないと忠告されています。ムスリムが一日に五回の礼をするのはこのためであり、ただ一度だけの出来事ではなく、人の一生をかけた廉直かつ 的な努力なのです。

“信仰のみ”の教は、全能なる神によって かれたものではないため、冒的なものです。“信仰のみ”の教はクルア ンにおいては当然のことながら、バイブルでさえ存在していません。典において全く根の 出せないもの に うことは、正しいことではありません。

救は神の恩を得ることによってもたらされ、それは内的な信仰と善き行いによって成されます。これが、クルア ンとバイブル双方において根を 出すことの出来る信条なのです。神の 束とは、“内的信仰”と“善行”を通して恩が与えられることなのであり、“信仰のみ”はそれに当てはまりません。

一部の人々は“信仰のみ”によって天国が 束されていると信じていますが、それは彼らが に天国に入ることを意味しているのでしょうか？ に何かを信じるだけでは、はしないのです。あなたは、イエスが主であると信じるだけで私たちは救われる、とテレビ道が主 するのを耳にしたことがあるかもしれません。そしてチャンネルを えると、



私たちは、心で信じるだけでなく、行として表に出すことによって、神のご悦を得ることに努力しなければなりません。心の中の信念は何よりも重要ですが、そのことが四肢による行の重要性を取り消すことにはなりません。信仰の伴わない行は不善であり、行の伴わない信仰は善なのです。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/1172>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。